

～地球に優しい生活を目指して～  
徳島新聞のエシカルな記事を読んで、自  
分の感じたことを校内で発信しています。  
その一部を紹介します。



# 令和2年6月12日(金) 徳島新聞より

徳島新聞

2020年(令和2年)6月12日 金曜日

## フードバンク事業

### キヨーエイ全店 ポスト設置完了

家庭で余った食品を集めて寄付する「フードバンクポスト」の店舗内設置を進めているスーパー・キヨーエイ(徳島市)は11日、残る徳島市内の3店舗にポストを設け、県内全30店舗への導入が完了した。

3店舗は昭和店(中昭和町5)、川内店(川内町大松)、二軒屋店(南二軒屋町2)で、店内に回収用のプラスチックケースや対象商品を知らせるパネルを設置した。買い物客に無償提供



県内全店舗への設置が完了した「フードバンクポスト」＝徳島市中昭和町5のキヨーエイ昭和店

存できる未開封の食品を入れてもらう。  
4月2日からタクト店(同市南島田町3)など3店舗を皮切りに設置店舗を拡大。5月末までにコメや菓子、調味料など計350kgを回収し、NPO法人や社会福祉施設などに寄付した。全店舗への導入により月300kg以上の回収を見込んでいる。

キヨーエイは「新型コロナウイルスの影響で協力し合う意識が高まり、多くの寄付が集まっている。今後もフードロス削減の意識を持って取り組んでいきたいとしている。(大塚康代)

・常温保存できる未開封の食品

・家庭内で余った食品を集めて寄付する

→ 買いすぎた時の対策にもなる

# 令和2年7月20日(月) 徳島新聞より

最終的には、自治体側が回収方法を決める  
→現場の手間とコストがかかるため

## 「ごみ分別回収へ プラ資源」新設

政府

### リサイクル拡大目指す

政府は、文具やおもちゃといったプラスチック製品を資源ごみとして分別回収するよう、市区町村に要請する方針を固めた。新たな分別区分「**プラスチック資源**」を新設、洗剤ボトルや弁当容器などプラ製容器包装を一括回収する。海洋プラごみ問題などを背景に、排出抑制の動きが世界で広がる中、リサイクル拡大を目指す。

政府のプラスチック資源循環戦略に基づく具体策を検討している環境、経済産業両省の有識者会議へ21日、制度案を提示。法整備、自治体の負担軽減策も検討する。

新たに分別回収するのは、ほかに洗面器やバケツ、台所回りなどのプラ製品。回収は市区町村が担っているが、現在は地域によって取り扱いがまちまちで、可燃ごみとして焼却されたり、不燃ごみとして埋め立て処分されたりしている。

一方、食品トレー、野菜用ネット、レジ袋などを含め、容器包装リサイクル法による容器、包装は再資源化が進んでおり、環境省に

新たな分別区分「プラスチック資源」が新設される  
→文具やおもちゃ、プラ容器、洗面器などのプラ製品を回収する

令和2年 7月20日 徳新

よると、全市区町村7%が分別して回収する。

政府は今後、ごみの分別区分を設け、文具などのプラごみ、容器包装をまとめて回収し、リサイクル率を高める。ただ、現場の手間とコストがかかり、最終的には自治体側が回収方法を決める。このため政府は自治体の取り組みを後押しできるよう、補助金交付など自治体の負担軽減につながる対策も検討を進める。